



平成22年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 キューピー株式会社

コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 井上 伸雄

TEL 03-3486-3331

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	350,765	3.4	17,868	30.6	18,355	30.0	8,807	17.9
21年11月期第3四半期	339,195		13,685		14,120		7,468	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年11月期第3四半期	58.06	
21年11月期第3四半期	49.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年11月期第3四半期	285,225	179,039	54.2	1,018.88
21年11月期	275,650	170,804	53.8	978.33

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 154,560百万円 21年11月期 148,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年11月期		7.50		9.50	17.00
22年11月期		8.00			
22年11月期(予想)				8.00	16.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(参考) 平成21年11月期の1株当たり期末配当金につきましては、創立90周年記念配当2円を含んでおります。

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	472,600	4.5	21,500	21.3	21,800	18.4	10,500	16.2	69.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年11月期3Q 155,464,515株 21年11月期 155,464,515株

期末自己株式数 22年11月期3Q 3,768,119株 21年11月期 3,765,068株

期中平均株式数(四半期累計) 22年11月期3Q 151,697,268株 21年11月期3Q 151,731,376株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 売上高のまとめ	9
(2) 営業利益のまとめ	10
(3) 10.11期第3四半期累計（09.12月～10.8月）の営業利益増減状況	11
(4) 主要な販売費・一般管理費実績	12
(5) 営業外・特別損益の実績と計画、及び09.11期第3四半期累計対比での主な増減内容	12
(6) 貸借対照表の差の主な増減内容	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は景気対策の効果もあり持ち直しの動きを見せたものの、為替相場の企業収益への影響の懸念などから景気の先行きへの不透明感が強まる環境で推移いたしました。

食品業界においては、猛暑からコンビニエンスストアや外食産業での消費に回復の兆しが見られましたが、お客様の購入単価の低下傾向が続きました。

食品物流業界においては、消費の冷え込みによる荷動きの減少の中、お得意先様の物流費抑制や同業者間の価格競争による受託料金の伸び悩みの傾向が継続しました。

◇ 当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

当期からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、またこれらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

・売上高

食品事業では当第3四半期連結会計期間において主にタマゴ事業が牽引し増収に転じたほか、物流事業での連結子会社の増加などにより3,507億65百万円と前年同期比115億70百万円（3.4%）の増収

・利益面

各事業の基幹商品が堅調に推移したことに加え、グループを挙げたコスト低減活動や主原料を安定的に購入できたことなどが寄与し、営業利益は178億68百万円と前年同期比41億83百万円（30.6%）、経常利益が183億55百万円と前年同期比42億35百万円（30.0%）、四半期純利益は88億7百万円と前年同期比13億39百万円（17.9%）の増益

◇ セグメント別の状況

<食品事業>

(単位 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減（金額）	増減（比率）
売上高	270,517	266,303	△4,214	△1.6%
営業利益	15,430	19,062	3,632	23.5%

調味料・加工食品

- ・フードサービス市場の低迷やアイテムの精鋭化などにより加工食品が減収
- ・サラダ調味料の物量が伸長
- ・家庭用やフードサービス向けの具沢山のソースなど新・ソースワールドの展開が進展

健康機能

- ・食品や化粧品用途を中心にヒアルロン酸が順調に拡大
- ・市場へのさらなる浸透をめざしてユニバーサルデザインフード「やさしい献立」シリーズを全面リニューアル

タマゴ

- ・グループを挙げた新たなメニュー提案が寄与し、製菓や製パンを始めとする食品メーカー向けが堅調
- ・おむすび用のタマゴソースがコンビニエンスストアで好評

サラダ・惣菜

- ・業態転換の影響やコンビニエンスストア向け売上げの不振により減収
- ・サラダやカット野菜などの基幹商品は拡大が加速

＜物流事業＞

（単位 百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	増減（金額）	増減（比率）
売上高	68,678	84,461	15,783	23.0%
営業利益	1,450	2,438	988	68.1%

- ・連結対象範囲の拡大が寄与
- ・市場の変化に対応すべく保管や運送機能の再構築を推進し、収益力が向上

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、2,852億25百万円と前連結会計年度末比95億75百万円増加
主に「現金及び預金」の減少、「受取手形及び売掛金」、「商品及び製品」の増加による
- ・負債は、1,061億85百万円と前連結会計年度末比13億39百万円増加
主に「支払手形及び買掛金」、「短期借入金」、「売上割戻引当金」、「賞与引当金」の増加、「その他」（未払費用）、「長期借入金」の減少による
- ・純資産は、1,790億39百万円と前連結会計年度末比82億35百万円増加
主に「利益剰余金」、「少数株主持分」の増加による

◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、255億53百万円と前連結会計年度末に比べ22億78百万円減少
- 各キャッシュ・フローの状況
 - 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権および仕入債務の増加、たな卸資産の増加、法人税等の支払などにより138億89百万円の収入
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のための支出などにより118億92百万円の支出
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少、配当金の支払などにより44億82百万円の支出

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中期経営計画の初年度にあたり、「事業基盤の強化」においては、サラダ調味料の拡大、タマゴ商品の競争力向上、ヒアルロン酸の強化を推し進めるとともに、生産配置の適正化やサラダ・惣菜事業の関東エリアの強化に取り組みます。また「新たな展開への挑戦」では、国内においては、新たなソースの打ち出しなどにより市場の深耕を図るほか、海外では、中国へのさらなる浸透、タイのフードサービス市場の開拓やマレーシアにおいて取得したハラール認証の活用を図るなど東アジアでの拡大を推進してまいります。

本年6月30日に公表しました平成22年11月期の業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,035	23,148
受取手形及び売掛金	66,861	61,342
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	11,289	9,529
仕掛品	784	762
原材料及び貯蔵品	4,708	4,097
その他	7,760	4,851
貸倒引当金	△377	△356
流動資産合計	118,062	108,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,113	123,890
減価償却累計額	△77,583	△75,054
建物及び構築物（純額）	48,530	48,835
機械装置及び運搬具	126,547	125,623
減価償却累計額	△104,833	△102,742
機械装置及び運搬具（純額）	21,714	22,880
土地	40,706	40,463
建設仮勘定	2,579	1,535
その他	10,746	9,527
減価償却累計額	△7,615	△7,218
その他（純額）	3,130	2,309
有形固定資産合計	116,661	116,024
無形固定資産	2,049	2,261
投資その他の資産		
投資有価証券	19,375	19,795
前払年金費用	18,019	18,446
その他	11,847	11,474
貸倒引当金	△791	△726
投資その他の資産合計	48,451	48,989
固定資産合計	167,162	167,276
資産合計	285,225	275,650

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成22年8月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年11月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,063	37,023
短期借入金	20,587	11,537
未払法人税等	5,544	5,929
売上割戻引当金	3,299	1,067
賞与引当金	4,373	643
役員賞与引当金	99	93
その他	16,673	22,483
流動負債合計	90,642	78,778
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	1,812	12,744
引当金	2,620	2,623
その他	10,611	10,200
固定負債合計	15,543	26,068
負債合計	106,185	104,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,432	29,432
利益剰余金	107,793	101,396
自己株式	△3,846	△3,843
株主資本合計	157,484	151,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,055	1,213
繰延ヘッジ損益	△34	△58
為替換算調整勘定	△3,944	△3,831
評価・換算差額等合計	△2,923	△2,676
少数株主持分	24,478	22,391
純資産合計	179,039	170,804
負債純資産合計	285,225	275,650

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	339,195	350,765
売上原価	257,597	263,182
売上総利益	81,597	87,582
販売費及び一般管理費	67,911	69,714
営業利益	13,685	17,868
営業外収益		
受取利息	235	143
受取配当金	259	264
持分法による投資利益	126	185
その他	405	600
営業外収益合計	1,026	1,193
営業外費用		
支払利息	407	266
為替差損	—	145
その他	184	293
営業外費用合計	591	705
経常利益	14,120	18,355
特別利益		
前期損益修正益	15	12
固定資産売却益	20	30
貸倒引当金戻入額	—	66
補助金収入	20	40
その他	25	34
特別利益合計	81	183
特別損失		
前期損益修正損	77	5
固定資産売却損	13	3
固定資産除却損	383	793
投資有価証券評価損	—	313
その他	44	12
特別損失合計	518	1,128
税金等調整前四半期純利益	13,684	17,410
法人税等	5,426	7,442
少数株主利益	788	1,160
四半期純利益	7,468	8,807

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,684	17,410
減価償却費	9,481	9,553
持分法による投資損益 (△は益)	△126	△185
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	313
引当金の増減額 (△は減少)	5,785	5,780
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△889	469
受取利息及び受取配当金	△495	△407
支払利息	407	266
固定資産除売却損益 (△は益)	376	766
売上債権の増減額 (△は増加)	9,362	△3,359
たな卸資産の増減額 (△は増加)	998	△2,247
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,301	2,501
その他	△6,273	△7,318
小計	22,012	23,543
利息及び配当金の受取額	498	479
利息の支払額	△407	△298
法人税等の支払額	△3,464	△9,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,638	13,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,540	△8,420
無形固定資産の取得による支出	△478	△332
投資有価証券の取得による支出	△3,258	△1,016
貸付けによる支出	△439	△580
貸付金の回収による収入	498	177
その他	1,808	△1,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,409	△11,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△461	△600
長期借入金の返済による支出	△1,348	△909
少数株主からの払込みによる収入	—	182
配当金の支払額	△2,352	△2,655
少数株主への配当金の支払額	△241	△269
自己株式の取得による支出	△28	△3
その他	△72	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,505	△4,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,647	△2,482
現金及び現金同等物の期首残高	26,705	27,831
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	100	205
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,453	25,553

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日）

	食品事業 (百万円)	物流事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	270,517	68,678	339,195	—	339,195
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10	16,354	16,364	(16,364)	—
計	270,528	85,032	355,560	(16,364)	339,195
営業利益	15,430	1,450	16,881	(3,195)	13,685

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、業種別に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

食品事業・・・調味料・加工食品、健康機能、タマゴ、サラダ・惣菜 等
物流事業・・・運送・倉庫業

3. 追加情報

当社および国内連結子会社の機械装置等の耐用年数については、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更しております。これにより、営業利益は「食品事業」で431百万円増加し、「物流事業」で8百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日）

	食品事業 (百万円)	物流事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	266,303	84,461	350,765	—	350,765
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10	16,456	16,467	(16,467)	—
計	266,314	100,918	367,232	(16,467)	350,765
営業利益	19,062	2,438	21,500	(3,632)	17,868

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、業種別に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

食品事業・・・調味料・加工食品、健康機能、タマゴ、サラダ・惣菜 等
物流事業・・・運送・倉庫業

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間の本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報は開示しておりません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間の海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は開示しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

大阪サンエー物流㈱、エム物流㈱、㈱サンファミリー、ワイシステム㈱の4社が第1四半期連結会計期間より連結子会社となったことにより、連結子会社の増加に伴う利益剰余金の増加として、利益剰余金が246百万円増加しております。

4. 補足情報

- 注) 1. 09.11期より四半期(連結)財務諸表規則等及び四半期会計基準に基づいて作成しております。
 2. 10.11期より事業区分を変更しておりますので、09.11期の業績については旧事業区分に加え、新事業区分でも表示しております。
 3. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しております。
 4. 本資料中の「上期」の数値は、第2四半期累計の数値を掲載しております。
 5. 本資料中の予想数値は本日現在における入手可能な情報及び業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

(1) 売上高のまとめ

【旧事業区分】

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
08.11期	調味料・加工食品	411	484	895	450	1,345	431	1,776
	健康機能	38	47	85	47	132	50	182
	タマゴ	208	226	434	218	652	231	883
	サラダ・惣菜	230	236	466	245	711	227	938
	物流システム	224	246	470	247	717	243	960
	合計	1,112	1,239	2,351	1,207	3,558	1,182	4,740
09.11期	調味料・加工食品	403	472	875	439	1,314	436	1,750
	健康機能	40	47	87	44	130	48	178
	タマゴ	204	203	407	197	605	211	816
	サラダ・惣菜	213	222	435	222	656	203	859
	物流システム	229	228	457	230	687	233	920
	合計	1,090	1,170	2,260	1,132	3,392	1,130	4,522

【新事業区分】

(億円)

09.11期	調味料・加工食品	406	474	880	440	1,320	437	1,757
	健康機能	39	45	84	43	127	46	173
	タマゴ	199	198	397	192	589	206	795
	サラダ・惣菜	199	208	407	209	616	191	807
	共通事業	18	17	35	18	53	18	71
	物流システム	229	228	457	230	687	233	920
	合計	1,090	1,170	2,260	1,132	3,392	1,130	4,522
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285		1,746
	健康機能	39	44	83	46	129		175
	タマゴ	195	209	404	209	613		844
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583		771
	共通事業	20	17	37	16	53		68
	物流システム	272	282	554	291	845		1,122
合計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508		4,726	

前年差	調味料・加工食品	△ 9	△ 17	△ 26	△ 9	△ 35		△ 11
	健康機能	0	△ 1	△ 1	3	2		2
	タマゴ	△ 4	11	7	17	25		49
	サラダ・惣菜	△ 15	△ 14	△ 30	△ 4	△ 33		△ 36
	共通事業	2	0	2	△ 2	0		△ 3
	物流システム	44	54	97	61	158		202
合計	18	32	50	67	116		204	

※10.11期通期は、2010年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は上期と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と上期の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

(2) 営業利益のまとめ

【旧事業区分】

(億円)

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
08.11期	調味料・加工食品	21	30	51	21	72	27	99
	健康機能	0	3	3	2	5	3	8
	タマゴ	9	12	21	5	26	10	36
	サラダ・惣菜	1	6	7	7	14	3	17
	物流システム	0	6	6	5	11	8	19
	全社費用・消去	△10	△11	△21	△10	△31	△8	△39
	合計	22	45	67	30	97	43	140
09.11期	調味料・加工食品	21	41	62	50	112	34	146
	健康機能	1	2	3	1	4	2	6
	タマゴ	12	8	20	10	30	6	36
	サラダ・惣菜	0	4	4	5	9	1	10
	物流システム	3	6	9	6	14	8	22
	全社費用・消去	△10	△12	△22	△10	△32	△11	△43
	合計	26	50	76	61	137	40	177

【新事業区分】

(億円)

09.11期	調味料・加工食品	18	38	56	46	102	36	138
	健康機能	1	3	4	2	6	0	6
	タマゴ	12	9	21	11	32	4	36
	サラダ・惣菜	0	6	6	6	12	1	13
	共通事業	1	1	2	2	4	0	4
	物流システム	3	6	9	5	14	8	22
	全社費用・消去	△10	△12	△22	△10	△32	△11	△43
合計	26	50	76	61	137	40	177	
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129		162
	健康機能	3	3	6	4	10		11
	タマゴ	11	11	22	11	33		38
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11		16
	共通事業	4	1	5	2	7		5
	物流システム	6	9	15	9	24		30
	全社費用・消去	△11	△13	△24	△12	△36		△47
合計	44	74	118	61	179		215	
前年差	調味料・加工食品	13	19	32	△5	27		24
	健康機能	1	0	2	2	5		5
	タマゴ	△1	2	2	0	2		2
	サラダ・惣菜	2	△2	1	△1	0		3
	共通事業	2	0	3	0	3		1
	物流システム	2	3	6	4	10		8
	全社費用・消去	△1	△1	△3	△2	△4		△4
合計	18	24	43	0	42		38	

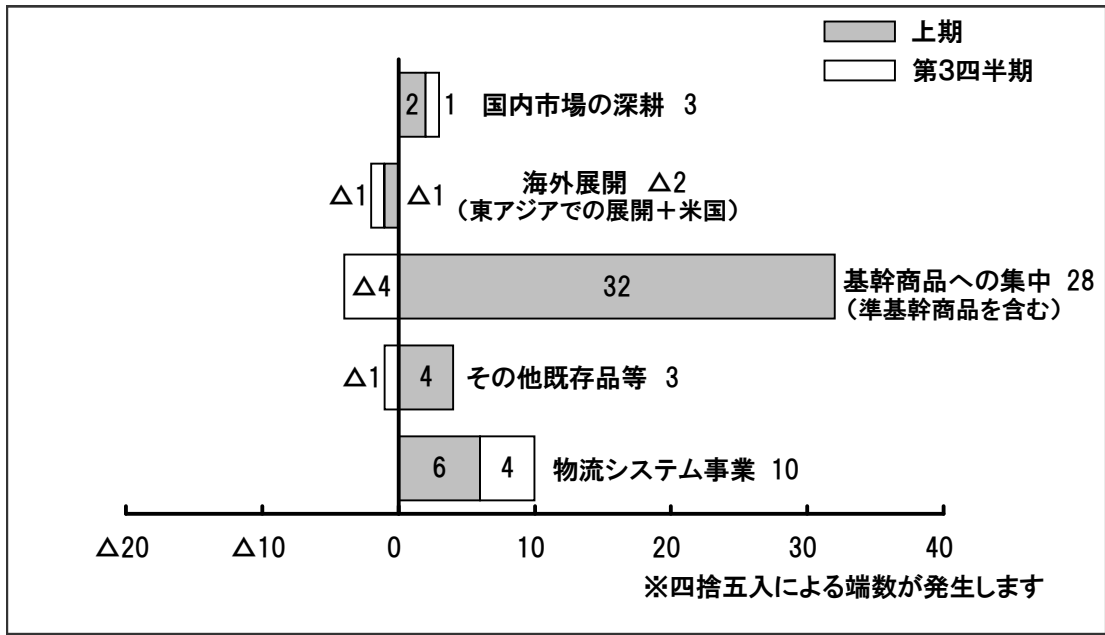
※10.11期通期は、2010年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は上期と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と上期の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

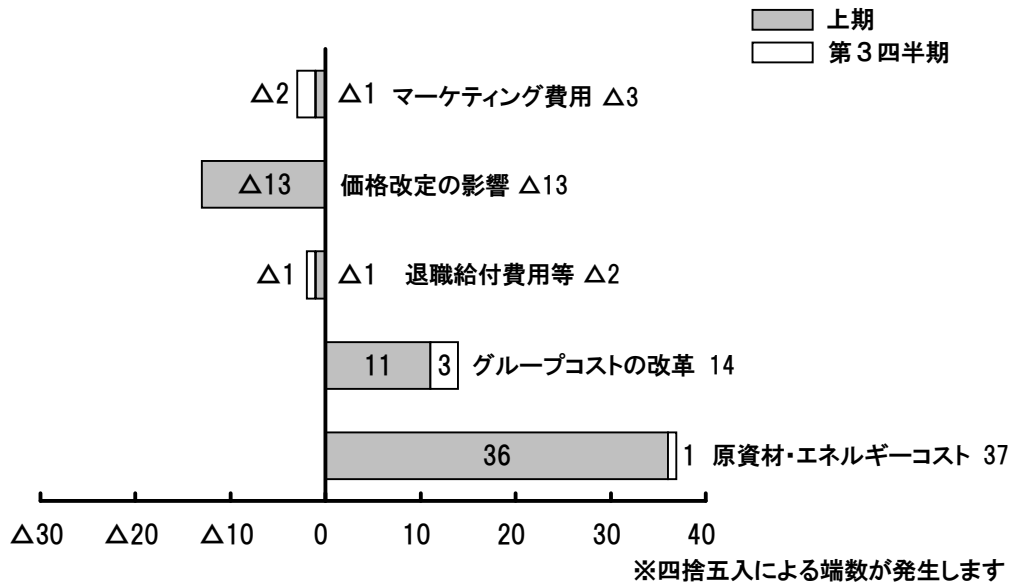
※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

(3) 10.11期第3四半期累計(09.12月～10.8月)の営業利益増減状況
(億円)

	09.11期	10.11期	前年差
上期	76	118	43
第3四半期累計	137	179	42



なお、上記の営業利益に含まれる主なコスト・価格改定の影響は以下のとおりです。



(4) 主要な販売費・一般管理費実績

(億円)

	09.11期 第3四半期累計	10.11期 第3四半期累計	前年差
販売促進費	130	133	3
広告宣伝費	58	59	1
物流費	189	192	3
労務費	163	173	10
研究開発費	22	21	△1

(5) 営業外・特別損益の実績と計画、及び09.11期第3四半期累計対比での主な増減内容

(億円)

	09.11期 第3四半期累計	10.11期 第3四半期累計	増減内容 (09.11期第3四半期累計と10.11期第3四半期累計比較)	09.11期	10.11期計画
営業外損益	4	5	その他の収益の増加 +2 支払利息の減少 +1 為替差損の増加 △1	7	3
特別損益	△4	△9	前期損益修正損の減少 +1 固定資産除却損の増加 △4 投資有価証券評価損の増加 △3	△18	△13

(6) 貸借対照表の差の主な増減内容

(億円)

	09.11期	10.11期 第3四半期	増減	
(資産の部)				
流動資産	1,084	1,181	97	現預金の減少 △11 営業債権の増加 55 たな卸資産の増加 24
固定資産				
有形・無形固定資産	1,183	1,187	4	取得による増加 98 減価償却による減少 △96 新規連結に伴う増加 7
投資その他の投資	490	485	△5	投資有価証券の減少 △4 前払年金費用の減少 △4 差入保証金の増加 3
(負債の部)				
	1,048	1,062	14	営業債務の増加 30 引当金の増加 60 未払費用の減少 △60 借入金金の減少 △19
(純資産の部)				
	1,708	1,790	82	利益剰余金の増加 64 少数株主持分の増加 21